

フロンティアからの経済学入門

-インセンティブと所有権-

山田知明

明治大学

2011年度 商学入門

What is “Economics”?

- ▶ 「経済学 (Economics)」とはどのような学問か?
 1. 最適な資源配分 (Resource Allocation)
 - ▶ たぶん「経済学 A・B」でやります
 2. 人間の意思決定 (Decisions Making)
 - ▶ なぜ彼/彼女は「あれ」より「これ」を選択したのか?

Two Conflicting Views about Rational Behaviors

- ▶ 経済主体は合理的 (Rational) か?
 - ▶ YES
 - ▶ 消費者は自分の満足度を最大化
 - ▶ 企業は利潤最大化
 - ▶ NO
 - ▶ アニマル・スピリット (Animal Spirits) by J.M. Keynes
 - ▶ 行動経済学 (Behavioral Economics)
 - ▶ 「理性的でない」わけではない

- ▶ 『意思決定の科学』としての経済学
- ▶ 経済学の中心命題
 - ▶ “人間はインセンティブ(誘因)に反応する”
 - ▶ それ以外は付随的注釈 by スティーブン・ランズバーグ
- ▶ 今日のお話
 - ▶ 制度(Institution)、財産権(Property Right)とインセンティブ

The Colonial Origins (1)

- ▶ Acemoglu, Johnson, and Robinson (2001),
“The Colonial Origins of Comparative Development:
An Empirical Investigation,”
American Economic Review, Vol. 91 (5), 1369–1401.
- ▶ 何故、経済的豊かさは国によって異なるのか？

The Colonial Origins (2)

- ▶ 結論：“制度と財産権が経済発展にとって大事”
 - ▶ 当然!?
 - ▶ どうやって検証すればよい?
- ▶ 文化や民族、様々な歴史的経緯等を考慮すると、制度の影響だけを考察することは難しい...
- ▶ 歴史的な経緯が異なる例
 - ▶ 韓国と北朝鮮
 - ▶ 西ドイツと東ドイツ

The Colonial Origins (3)

- ▶ 相関関係と因果関係の違いに注目
- ▶ どっちだろう?
 1. 制度がしっかりしている国の方が経済的に豊か
 2. 経済的に豊かな国の方が制度がしっかりしている
- ▶ 両者を区別する方法を考えてみよう!
- ▶ Acemoglu 達の検証方法
 1. ヨーロッパの植民地政策の違い
 2. 植民地での生存率の違い

The Colonial Origins (4)

- ▶ 「人々はインセンティブに反応する」を検証
- ▶ ヨーロッパの人々は様々な土地を植民地にした
 - ▶ アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド
 - ▶ アフリカ(コンゴ、ナイジェリア etc.)
- ▶ 土地ごとに住みやすさ(生存率)が異なる

The Colonial Origins (5)

- ▶ Acemoglu, Johnson and Robinsonの3つの仮説
1. ヨーロッパ諸国は植民地に対して、異なる政策を行った
 - ▶ 搾取に適した国：植民地から宗主国に様々な資源や商品を送らせた
 - ▶ 例：ベルギーにとってのコンゴ
 - ▶ 財産権の保護や政府の収奪に対する監視は不要
 - ▶ 居住に適した国：ヨーロッパの人達が移住していった
 - ▶ 自分たちの国のような制度(財産権、選挙等)を取り入れた
 2. 植民地政策の違いは、移住しやすさによって決定
 - ▶ 病気(マラリア等)が蔓延している国には住みたくない
 3. 植民地だった国は、独立後も以前の制度を引きずった

The Colonial Origins (6)

- ▶ Acemoglu 達が考える因果関係
- 1. 移住者の生存確率が高い \Leftarrow データあり
- 2. 実際に移住
- 3. 経済的制度を導入
- 4. 現在の制度に継承
- 5. 現在の経済パフォーマンス \Leftarrow データあり

The Colonial Origins (7)

- ▶ 具体的な検証方法
- ▶ データ：17世紀から19世紀の兵士 (Soldiers)、司祭 (Bishop)、海兵 (Sailors) の生存率
 - ▶ 「移民してから何年間、生きていたか？」
 - ▶ 移民政策をとる国は(幸いにも)きちんとデータを集めていた!
- ▶ 図1：生存率と経済的豊かさ

- ▶ まとめると、「人々はインセンティブに反応した」
 1. 移住する国では、財産権を確立し、しっかりとした(自国のような)制度を導入する
 2. 投資が行われ、経済活動が活発になる
 3. 移住に適していない国は、搾取するため、(当時のヨーロッパ諸国のような)近代的な経済制度は不必要
- ▶ 現在もその影響が強く残っている!
 - ▶ 過去の移民の生存率と現在の経済パフォーマンスに強い相関関係
- ▶ アフリカが貧しいのは、地理的あるいは文化的理由というより、制度的要因
 - ▶ 反対意見：モンテスキュー、サックス etc.

Reinvesting the Bazaar

フロンティアから
の経済学入門

山田知明

フロンティアからの
経済学入門

経済学の範囲

人間の行動に関する 2 つの
異なる意見

インセンティブ

Acemoglu, Johnson,
and Robinson

市場を創る

文献リスト

- ▶ どうやって“役立てて”いくのか?
- ▶ メカニズム・デザイン (Mechanism Design)
- ▶ マイクロ・ファイナンス

Reading List

- ▶ スティーヴン・レヴィット/スティーヴン・ダブナー『ヤバい経済学 [増補改訂版]』東洋経済
- ▶ スティーヴン・レヴィット/スティーヴン・ダブナー『超ヤバい経済学』東洋経済
- ▶ ジョン・マクミラン『市場を創る』NTT出版
- ▶ Itzhak Gilboa (2010): *Rational Choice*, The MIT Press.
- ▶ その他のお勧め本は下記のHP にリストアップしてあります

<http://homepage2.nifty.com/~tyamada/index.html>